

平成28・29年度と平成30・31年度の保険料率算定時における財政見通しの比較

平成28・29年度

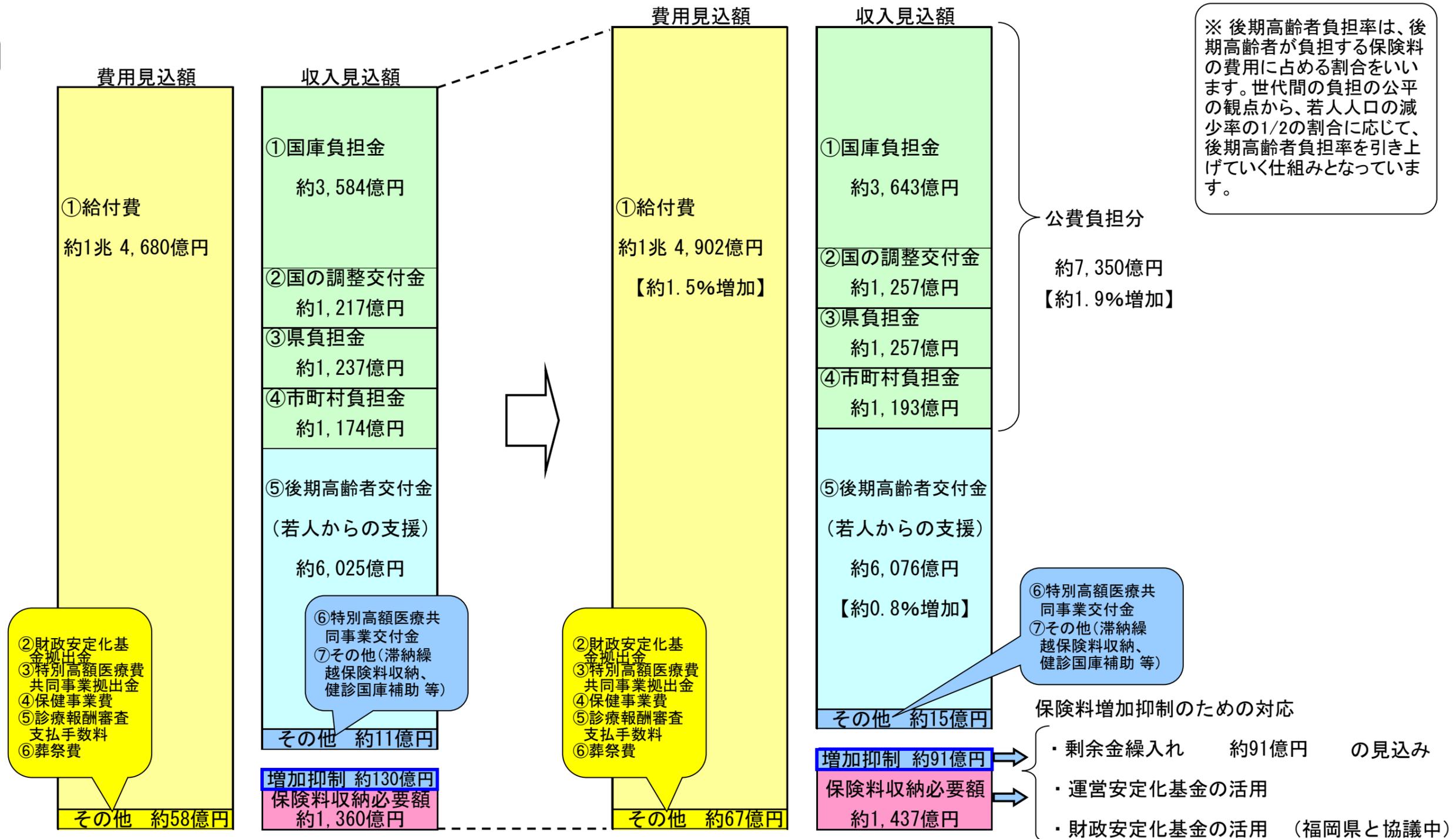
平成30・31年度

主な算定要素

1 被保険者数見込(2か年度)	約130万人
2 費用の規模見込	約1兆4,738億円
3 費用のうち、給付費総額	約1兆4,680億円
4 一人当たり給付費	約1,085千円
5 後期高齢者負担率*	10.99%

1 被保険者数見込(2か年度)	約136万人	【約4.7%増加】
2 費用の規模見込	約1兆4,969億円	【約1.6%増加】
3 費用のうち、給付費総額	約1兆4,902億円	【約1.5%増加】
4 一人当たり給付費	約1,097千円	【約1.1%増加】
5 後期高齢者負担率*	11.21%	【約2.0%増加】

財政見通し



給付費について

【概要】

被保険者に係る療養の給付に要する費用から、一部負担金及び第三者行為返納金等相当を控除した額に、入院時食事療養費等の額を加えたもの。

【算出方法】

平成30・31年度における被保険者数及び1人当たり給付費の推計値を基に算出した。

$$\text{給付費見込額} = \text{1人当たり給付費（推計値）} \times \text{被保険者数（推計値）}$$

◆ 被保険者数の推計

福岡県の統計「福岡県人口移動調査」の年齢別人口、死亡・転出入による人口移動率のほか、これまでの被保険者数の増加減少の実績値や市町村からの住民基本台帳情報を基に、76歳到達予定者数、被保険者の死亡者数などを推計し算出。

平成29年度	656,789人	
平成30年度	671,856人	} 合計 1,358,594人
平成31年度	686,738人	

◆ 1人当たり給付費の推計

- 平成20～平成23年度までは高い伸び率を示したが、平成24年～平成26年度になると緩やかな伸びに転じた。
- 平成27年度は、保険適用されたC型肝炎の治療薬が給付費を引き上げたが、平成28年度は診療報酬のマイナス改定とC型肝炎の治療薬の使用が落ち着いたことで、減少した。
- 平成30、31年度については、緩やかな伸びとなった平成24～26年の実績と平成29年の1人当たり給付費の対前年伸び率の平均から算出した伸び率を当てはめ推計した。
(27年、28年は、異なる伸びを示していることから、伸び率を計算する値として参考にできないとの判断で除外した。)
- 消費税引き上げの影響については、平成26・27年度保険料算定における厚生労働省事務連絡の消費税引き上げの影響分の伸び率を参考に影響を積算した。

給付費見込額

年度	1人当たり給付費（円）		被保険者数（人）		給付費（円）	
		伸率%		伸率%	円	伸率%
28	1,082,506	-2.35%	639,097	3.19%	(実績) 691,826,076,093	0.77%
29	1,086,755	0.39%	656,789	2.77%	(見込) 713,768,729,695	3.17%
30	1,092,080	0.49%	671,856	2.29%	A 733,720,500,480	2.80%
31	1,101,581	0.87%	686,738	2.22%	B 756,497,532,778	3.10%

特定期間における一人当たりの給付費	平成28・29年度（実績見込）	1,084,659
	平成30・31年度	1,096,883

